

## 小林桂助コレクション鳥類目録の完成

平成12年度に人と自然の博物館に寄贈されたこばやしけいすけ小林桂助氏の鳥類コレクションの整理・同定が完了し、平成18年3月31日付けで同コレクションの目録が刊行されました。



写真1. 「小林桂助コレクション鳥類標本目録」。

神戸市灘区在住であった貿易商小林桂助氏(1908～2000)は、幼いころより父君の影響で昆虫採集を始め、その後、昆虫の収集と平行して鳥類の収集と研究を始めました。このコレクションは父君の代から収集した国内有数の鳥類コレクションで、総計15,442点の剥製・卵・巣標本はくせいからなっており、個人が収集したものとしては国内最大級のものです。小林コレクションの収集により、人と自然の博物館所蔵の鳥類資料は約17,000点にのぼることになりま



写真2. 生物系収蔵庫内の小林コレクション収蔵棚。



写真3. 仮剥製標本の収蔵状況(タカ類)。



写真4. 「ナチュラルリストの幻郷」での展示。

した。この点数は東洋一とされるやましな山階鳥類研究所の収蔵数に次ぐ国内第2位のもので

す。なお、小林桂助氏のそくせき足跡を示した展示とコレクションの一部は、人と自然の博物館の3階入口右手の常設展「げんきょうナチュラルリストの幻郷」でいつでもご覧になれます。

(自然・環境マネジメント研究部 江崎保男)